

08年、今年もまた
**松井田にろうばいと福寿草
を訪ねて**

花を訪ねて三千里シリーズ第12弾

走行日: 2008年2月15日

コース: 富岡～旧妙義町役場～松井田～新井
蠟梅園～細野、ろうばいの里～木馬瀬福寿草自
生地～国衛～松井田～磯部～もみじ平総合公
園～富岡

距離: 52.5km(=13里強) 累計 87里

これから冬本番といころ咲き始め、やがて来る春のきざしを告げる蠟梅、続いて福寿草が咲き始めれば、確実に春は近づいてくる。群馬に定住してから、早春の花を訪ねるのが楽しみになった。とくに松井田のろうばいの里と福寿草は定番だ。今回、長めに山荘からの全部往復を狙ったが、早朝からの行動ができず、富岡(甘楽町との境界あたり)、某スーパーに車を置いてスタート。



254バイパスを七日市のあたりまで走り、もみじ平総合公園方向に。公園への上り坂の手前を左折。丘陵の裾にのどかな道が続いている。車はほとんど通らない。



妙義山がだんだん近づいてくる。旧妙義町役場で幹線道路に合流するが、そこを右折。カーブして丘陵の上へ上ると、広々とした展望が開ける。高原のようだ。左前方は榛名山。



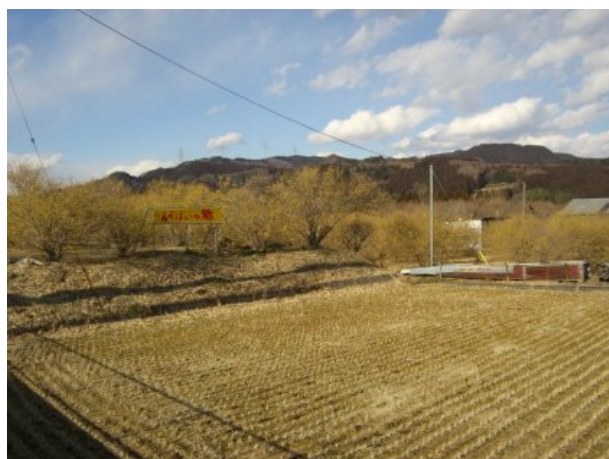
左後方は、遠くに鼻曲から浅間隠の稜線。しばらく進むと、妙義山との間に真っ白な浅間山も見えてくる。右手遠くは御荷鉾連山、ぐるり360度の展望だ。平坦な丘陵上部は1キロくらいで終わり、坂を下り松井田に。JRの跨線橋からは妙義が富岡側とは違った角度で見える。



碓氷川をわたり右折、中山道松井田宿に。補陀寺の角を右折し、坂を登って18号をくぐり、トンネルを抜けると九十九川の谷に開ける村や、その向こうの丘陵地が見える。

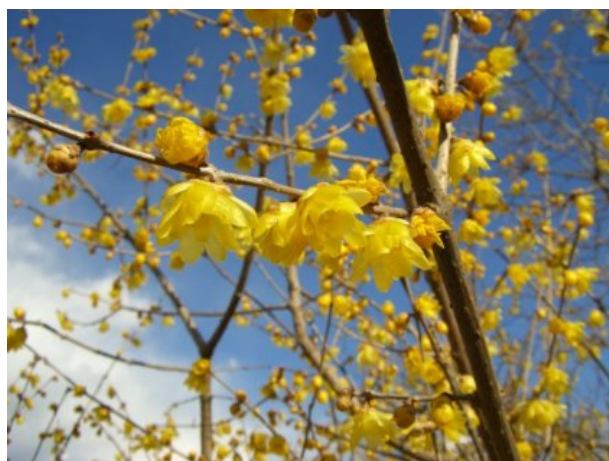
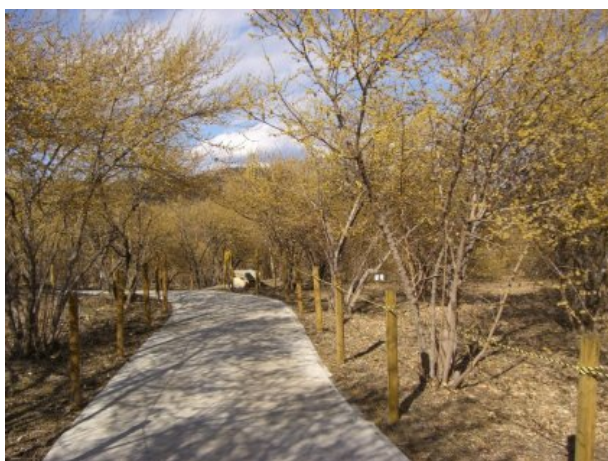


右手に新井蠟梅園が見えてきた。こちらは公園ではなく、蠟梅の苗木を販売する農家だ。満開、というよりそろそろ終わり。枯れてきた花もかなりある。店の人に聞くと、年末から咲いているので、1月10日ごろが見頃とのこと。



蠟梅の根元に福寿草が咲いている。2月になってから雪が降ったりで花を見に来るイメージではなかったが、確実に季節は進んでいるんだ。

九十九川をわたり、丘陵に上って細野の村を抜けると、ろうばいの里。入園料300円、村の人たちがボランティアで管理しており、最小限の維持費なのだ。



蠟梅の本数も多く、近隣の蠟梅園ではいちばん見事だと思う。まだ蕾も残っているが、早くから咲いている花は枯れかかっている。見頃は1月下旬かなあ。7分咲きくらいが良いのかもしれない。満月蠟梅を中心に、素心蠟梅、(この2つの区別がわかったつもりでよくわからなくなった)基本種のコーナーもある。

休憩所ではうどん300円、トン汁200円という良心的価格なのだが、今日はお休み。焼き芋の

ある炭焼き小屋には村人が数人。今日はもう売り切れ。明日の週末に備えて早仕舞いなのだ。パンを持ってきたし、不足分コンビニで調達しておいてよかった。ここはいつまでやっているのか聞いたら、花しだいなので、わからないとのこと。



ろうばいの里を出て、丘陵の奥のほうへ、木馬瀬に向かう。村の家に夏ミカン的一种らしきものがたわわに実っている。北限超えていると思うが。沿道には雪が残る。



右下に増田川が流れる。道が細くなり、坂を下りて川をわたると、木馬瀬の福寿草自生地。20m四方くらいの小さな丘に自生の福寿草が咲く。見頃を期待したが、日陰の斜面は雪だ。



日当たりの良いところに、少し出始めたところ。毎年、もっと群落になっていたが、これは2月の雪の影響で遅れているのだろう。周辺には植栽してふやしており、そちらはかなり咲いていた。



咲いている時期は重なるが、見頃は違うから、一度に楽しもうとせず順番に、来年からは蠟梅は1月下旬、福寿草は2月下旬にして2回こよう。

帰路は増田川の谷間の、のどかな道を走った。



この道を通るのは初めてかもしれない。似たようなところだけど。



だんだん谷が開けてきた。左の丘陵の上に榛名の山頂部がちらちらと見える。国衛(何と読むんだったか)で丘陵の上の道(いつもそちらを走っていた)と合流、九十九川をわたる。夕暮れが近づいてきた。このあたりからも、鼻曲～浅間隠方面の山稜が遠望できる。